

国立大学法人東北大学グローバルCOE特別研究奨励費取扱細則

平成19年12月25日
理事（研究・国際交流担当）裁定

（趣旨）

第1条 この細則は、国立大学法人東北大学グローバルCOE特別研究奨励費取扱要項（平成19年12月25日総長裁定。以下「要項」という。）第10条の規定に基づき、グローバルCOE特別研究奨励費（以下「COE奨励費」という。）の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

（給付資格者）

第2条 要項第3条第1項に規定する「博士の学位を有する者に相当する能力を有すると認められる者」とは、人文科学分野及び社会科学分野の大学院において、博士課程後期3年の課程に標準修業年限以上在学し、当該大学院が定める修了に必要な所定の単位を修得し、学位を得ずに退学した者で、拠点リーダーが博士の学位を有する者に相当する能力を有すると認めるものとする。

2 次の各号のいずれかに該当する者にあつては、給付の資格を有しない。

- 一 既に他の助成を受けている者又は助成の内定を受けている者
- 二 日本学術振興会特別研究員である者

（研究計画調書）

第3条 要項第5条第1項に規定する「研究計画調書」は、別記様式1のとおりとする。

（申請上の留意点）

第4条 要項第5条第1項に基づきCOE奨励費の給付の申請を行う場合には、次の各号に掲げる事項に、留意するものとする。

- 一 研究計画は、研究経費の使途及び積算が合理的に計画されたものであること。
- 二 研究計画は、所定の研究期間内に終了し、成果をとりまとめることができるよう具体的に計画されたものであること。
- 三 COE奨励費は、設備備品費又は旅費が研究経費の90%を超えないこと。
ただし、研究そのものの性格及び内容によりやむを得ず設備備品費又は旅費が90%を超える場合は、その理由を研究計画調書中で明らかにすること。
- 四 「ヒトゲノム遺伝子解析研究」、「ヒト胚性幹細胞を利用した研究」、「ヒトのクローン個体の作成に関する研究」、「疾患の治療を目的として遺伝子又は遺伝子を導入した細胞を人の体内に投与する等による臨床研究」等の研究を実施する場合には、研究指導者に確認の上、それぞれについて定められた法令、告示、通知及び東北大学で定めた規定等を遵守し、承認・届出・確認等が必要な場合は、所定の手続きをとること。
また、上記以外の研究であっても、法令等において、手続が必要とされている研究を実施する場合には所定の手続きをとること。
- 五 その他、別紙の「研究計画調書作成・記入要領」に十分留意すること。

（提出期限）

第5条 要項第5条第1項に規定する「所定の期日」は、拠点リーダーが定める日とし、必着とする。

(推薦書)

第6条 要項第6条第1項の規定による総長への推薦は、別紙様式2により行う。

(採択の通知)

第7条 要項第7条第2項の規定による決定の通知は、別紙様式3により行う。

(研究実施上の留意点)

第8条 COE奨励費の給付の決定を受けた者(以下、「COE奨励費受給者」という。)は、相手方の同意・協力や社会的コンセンサスを必要とする研究課題又はアンケート調査を行う研究課題について研究を実施する際には、人権及び利益の保護の取扱いについて十分配慮しなければならない。

(研究中止申請書)

第9条 COE奨励費受給者は、要項第8条の規定により研究を中止する場合は、別記様式4の研究中止申請書を拠点リーダーに提出すること。

(研究活動成果報告書)

第10条 要項第9条第1項に規定する「研究活動成果報告書」は、別記様式5のとおりとする。

- 2 COE奨励費受給者は、要項第9条第1項の規定により研究活動成果報告書を提出する際には、COE奨励費の使途を記載した決裁書及び領収書等の経費の用途と金額を証明できる書類を合わせて提出しなければならない。

(報告書の提出日)

第11条 要項第9条第1項に規定する「所定の期日」は、3月10日とする。ただし、要項第8条の規定により研究期間の途中でその資格を喪失した場合又はやむを得ない理由により研究を中止した場合は、その事由が生じた日から10日以内とする。

(成果及びCOE奨励費の使途の確認)

第12条 拠点リーダーは、要項第9条第2項の規定により研究活動報告書の確認を行う場合には、当該COE奨励費の選考を行った選考委員を招集し、その成果及び適正な奨励費の使途について審査を行う。

- 2 確認した研究活動報告書及び関係書類については、5年間、拠点リーダーが保管、管理する。

附 則

この要項は、平成19年12月25日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

グローバルCOE拠点リーダー

殿

平成 年度グローバルCOE特別研究奨励費研究計画調書

(ふりがな) 氏名	印	所 属	資 格
			COEフェロー・博士(4年・3年・2年・1年)
研究課題	40文字以内で記入すること。		
研究指導者	所 属 部 局	職 名	氏 名

研究経費 使用内訳 (金額単位:千円)

平成 年度										合 計			
①設備備品費		②消耗品費		③国内旅費		④外国旅費		⑤謝金		⑥その他			
品名	金額	品名	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額	事項	金額
				調査・研究旅費 研究打合せ旅費		学会等における 成果発表旅費		研究補助 専門的知識の提供					
(合計の %)				(合計の %)		(合計の %)							

研究目的	募集要領の趣旨に沿った目的を箇条書きで具体的に記入すること。
研究計画	研究経費との関連も含めて、何をどこまで明らかにしようとするかがわかるように焦点を絞り、箇条書きで記入すること。 また、設備備品費又は旅費が90%を超える場合は、研究計画の特殊性ないし特殊事情について記入すること。

研究計画調書 作成・記入要領

平成 年度グローバルCOE特別研究奨励費研究計画調書 作成・記入要領

グローバルCOEプログラム 特別研究奨励費研究計画調書(以下「研究計画調書」という。)の作成に当たっては、「平成 年度特別研究奨励費募集要項」を参照の上、作成して下さい。

審査の結果採択された場合は、採択通知を受け取った後、改めて交付請求書を提出し、所定の手続きを経て平成 年度グローバルCOE 特別研究奨励費の交付を受けることとなります。

研究計画調書は、下記の点に留意し楷書体で誤りのないように作成して下さい。

なお、記入は必ずしも直筆である必要はありませんが、ワープロ等で作成したものを貼り付ける場合は、貼り付けたものをそのまま提出するのではなく、それを原本にして別の用紙(規格A4判)1枚に明瞭に複写したものを提出してください。

記

1. 「氏名」欄の押印は、自署の場合は省略できるが、ワープロ等で記入した場合(自署したものを複写した場合を含む。)は必ず押印(朱肉使用)すること。
2. 「所属」欄は、研究科・専攻等を記入すること。
3. 「資格」欄は、該当する個所を○で囲むこと。
4. 研究課題名は、40字以内とすること。(記号、数式は避けること。)
5. 「研究指導者」欄は、現在の研究指導者を記入すること。
6. 「研究経費」欄は、研究計画に基づき、使用内識別にそれぞれ記入し、合計金額を記入すること。金額は、各使用内識別に千円単位で記入し、千円未満の端数は切り捨てること。

グローバルCOE 奨励費は、単なる研究設備の購入のための経費ではないので、申請研究経費中、設備備品費又は旅費が90%を超えないよう留意すること。

ただし、設備備品費又は旅費が90%を超える場合であっても、研究そのものの性格、内容に由来するものである場合は、その理由を明らかにして申請することができる。

7. 「使用内訳」欄の記入に当たっては、次のことに留意すること。
- (1) 設備備品費は、仕様（製造会社名・型）、数量を記入すること。
また、多数の図書、資料を購入する場合は、例えば「西洋中世政治史関係図書」のようにある程度図書の内容が判明するような表現で記入すること。
 - (2) 消耗品費は、試薬品、実験用小動物、試験管、論文の抜刷等その品名ごとに記入すること。
 - (3) 国内旅費は、調査・研究旅費（資料収集を含む。）、研究打ち合わせ旅費等その事項ごとに記入すること。
 - (4) 外国旅費は、奨励費を受けた者が研究課題の遂行上必要な外国旅行をする場合、研究経費のうち50万円又は50%の額のいずれか高い額以内で申請することができる。
 - (5) 謝金は、研究補助（資料整理・実験補助等）、専門的知識の提供、資料提出・閲覧等その事項ごとに記入すること。
 - (6) その他は、計算機使用料、会議費、印刷費、複写費、現像・焼付費、通信運搬費等その事項ごとに記入すること。
8. 「研究目的」欄は、募集要領の趣旨に沿った目的を箇条書きで具体的に記入すること。
9. 「研究計画」欄には、研究経費との関連も含めて、何をどこまで明らかにしようとするかがわかるように具体的に焦点を絞り、箇条書きで記入すること。

別記様式2 推薦書

平成 年度東北大学グローバルCOE 特別研究奨励費採択申請書

平成 年 月 日

東北大学総長 殿

グローバルCOE拠点リーダー
研究科 教授

[印]

平成 年度東北大学グローバルCOE 特別研究奨励費について、提出された計画調書を下記のとおり審査・選考しましたので、申請します。

記

1. 審査委員長氏名及び審査委員氏名・所属・職

審査委員長 : 氏名

審査委員 : 氏名

氏名

氏名

所属

所属

所属

職

職

職

2. 審査会開催日 : 平成 年 月 日 開催

3. 設定した選考上限人数 : 人

4. 選考結果 :

資格	氏名	課題名	交付予定金額 (千円)
計 件			

別記様式4 研究中止申請書

平成 年度東北大学グローバルCOE 特別研究奨励費の研究奨励費の研究中止申請書

平成 年 月 日

グローバルCOE拠点リーダー

殿

所属・資格・氏名

[印]

平成 年度東北大学グローバルCOE 特別研究奨励費について、下記のとおり研究を中止したいのでご承認下さるようお願いいたします。

記

1. 交付決定額 :

千円 (a)

2. 課題番号 :

3. 研究課題名 :

4. 奨励費の使用状況

1) 支出済額

千円 =(b)

2) 未使用額 [(a)-(b)]

千円 = 返還金額 ... (c)

5. 研究廃止の発生年月日及びその理由 :

6. 変更交付決定額 :

千円..... (b)

別記様式5 研究活動結果報告書

平成 年度東北大学グローバルCOE 特別研究奨励費 研究活動結果報告書

グローバルCOE拠点リーダー

殿

(ふりがな) 氏 名		所 属	資 格
研究課題名			
研究指導者	所 属 部 局	職 名	氏 名

<費目別収支決算表>

区 分	合 計	設 備 備 品 費	消 耗 品 費	国 内 旅 行	外 国 旅 行	謝 金	そ の 他
実支出額の 使用内訳	円	円	円	円	円	円	円
研究計画調書記 載の使用内訳							

<主要な設備備品明細書>

設備備品名	仕様・型・性能等	数 量	単 価 (円)	金 額 (円)

研究活動結果の概要

- ・研究計画調書に記載した研究目的及び実施計画に対し、その結果・実績について 1000～1200 字で具体的に記載すること。
- ・図，グラフは使用しないこと。
- ・工業所有権の出願等があれば，必ず記載すること。

研究発表

- 論文標題，雑誌名，巻・号，ページについて，記載すること。
- 但し，投稿中，投稿準備中は除くこととする。